



# 多良木町【熊本県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成30年5月 ■ 人口：9,674人 ■ 面積：166km<sup>2</sup>  
■ 担当課：多良木町教育委員会教育振興課（平成30年3月現在）



多良木町では平成21年度より専門家や地域住民による歴史文化遺産の悉皆調査を実施した。この調査により、多良木町の歴史的特性として「文化の境界性」が明確化された。その影響下、平安時代には多様な神仏像が作られ、これらは相良氏が建造した古社寺により保全され、今なおその信仰心は途絶えることはない。このような古社寺を核とした歴史文化遺産は、重要な普遍的価値を有するものである。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

大久保遺跡群、中世的景観の形成、  
相良氏関連遺跡群、新田集落、五間道路

### 課題

- ・未指定文化財等の悉皆調査
- ・魅力ある関連文化財群の設定
- ・担い手の確保及び育成

### 保存活用方針

- ・歴史文化遺産の本質的価値の追求
- ・歴史文化遺産を活用した地域振興
- ・歴史文化遺産を活用した産業創出
- ・歴史文化遺産を活用した観光振興

## 保存活用のための取り組み

### 本質的価値の追求

熊本大学・九州大学などの専門家による調査を継続的に実施し、その成果は“歴史回廊セミナー”として広く住民に周知する。



### “歴史文化遺産を護る”

- ・文化財管理者へ向けた保護意識の啓発、定期的な巡視作業
- ・計画的な補修・修理支援
- ・景観の維持、耕作放棄地を作らないシステム作り



### “歴史文化遺産を育む”

- ・地域が発見した資源の登録
- ・調査、研究事業
- ・文化財管理者間の情報共有
- ・重要遺跡群の国指定の推進
- ・伝統芸能の継承事業

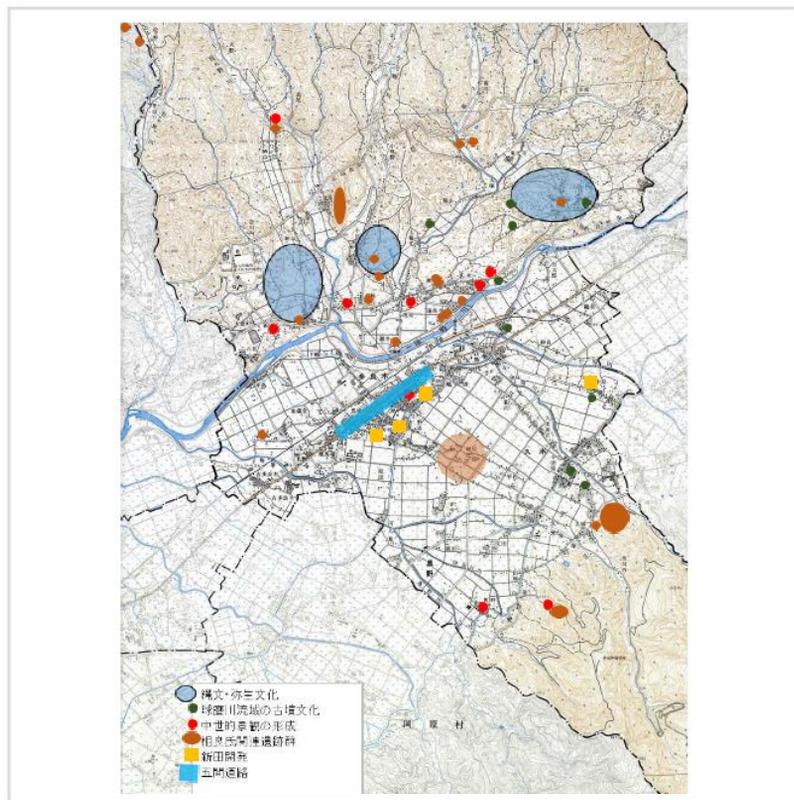


### “歴史文化遺産を魅せる”

- ・埋蔵文化財センターでの展示企画展
- ・歴史探訪コースの設定
- ・魅力発信施設への支援
- ・中間紫衣団体の創設
- ・特産品づくり



## 関連文化財群



過去の調査結果及び総合把握調査から多良木町の文化財の特徴を検討すると、「大久保遺跡群」「球磨川流域の古墳形成」「中世的景観の形成」「相良氏関連遺跡群」「新田集落」「五間道路」といった多良木を形成している特性が認められる。

### ストーリー

- ① 時間のもたらす特色と魅力
- ② 空間の特色と魅力
- ③ “山道”と“川道”の交わりの特色と魅力

## 策定後の成果（見込まれる効果）

### ① 価値の創出

調査により、多良木町には平安時代まで遡る仏像が多く残れていることがわかりました。このように多良木町には未だに未指定の遺産が数多く存在します。今後の調査により、新たな所見が得られる可能性を秘めています。



### ② 付加価値の創出

調査により価値が明確となった歴史文化遺産を活用するための商品開発に繋がります。歴史文化遺産と地場産業を繋げることで地域活性化に役立ちます。



### ③ 体験できること

現在の観光は“鑑賞”から“体験”へと転換しています。歴史文化遺産を活用した体験メニューを開発するために、歴史文化基本構想が役立っています。

